

システム制御情報セミナー2007
「ウェブを守る，ウェブを活用する」

<http://www.iscie.or.jp/seminar.html>

期日：2007年10月11日(木)，12日(金)

会場：立命館大学大阪オフィス

(大阪市中央区北浜3丁目1-18 島ビル6F TEL: 06-6201-3610)

主催：システム制御情報学会

協賛：ACM日本支部，IEEE 関西支部，映像情報メディア学会，応用物理学会，化学工学会，画像電子学会，計測自動制御学会，自動車技術会，情報処理学会，人工知能学会，精密工学会，センシング技術応用研究会，電気学会，電気化学会，電子情報通信学会，日本インダストリアル・エンジニアリング協会，日本感性工学会，日本機械学会，日本建築学会，日本光学会，日本航空宇宙学会，日本生体医工学会，日本生物物理学会，日本知能情報ファジィ学会，日本人間工学会，日本バーチャルリアリティ学会，日本分光学会，日本ロボット学会，日本ロボット工業会，バイオメディカル・ファジィ・システム学会，ヒューマンインタフェース学会(依頼中含む)

主旨：今や，多くの人々が日常的にウェブを利用するようになってきました。検索サービスやウェブログ，SNS といった個人が主体のサービスの登場とともに，ユーザ自身が積極的に情報発信に関わる新たなメディアとして，年々利用率が向上しています。その一方で，情報漏洩を防ぎながら効率的な情報共有を実現したり，ウェブ上を行き交うデータから有用な情報を発見したりする試みも進んでいます。このような背景のもとで，ウェブを守り，ウェブを活用するための様々な技術とその動向について学ぶことは，より安全に，そしてより効果的に情報の管理や共有を進め，次世代のコミュニケーションのあり方を考える上で大いに役立つのではないのでしょうか。

本セミナーでは，「ウェブを守り，活用するための技術を学ぶ」をテーマに，ウェブの安全を支える技術と，ウェブ上のデータを抽出・分析するための技術について，最新の技術動向や活用事例を紹介していただきます。

プログラム：

第1日(10月11日(木))

10:30~11:45 ウェブの安全性を確保するために：一般利用者と調達担当者の視点から

奈良先端科学技術大学院大学 門林 雄基氏

13:15~14:30 インシデント分析センタnicter - インターネットを安心・安全に

情報通信研究機構 井上 大介氏

14:45~16:00 鮮度と精度を重視した全文検索エンジンSenna

(有)未来検索ブラジル 末永 匡氏

第2日(10月12日(金))

10:30~11:45 Semantic Web とその応用

関西学院大学 北村 泰彦氏

13:15~14:30 Web テキストマイニングの研究動向

東京工業大学 奥村 学氏

14:45~16:00 Web における認証方式のいろいろ

サイボウズ(株) 山本 泰宇氏

定員：先着60名

聴講料：(いずれもテキスト1部を含む)

・10月4日迄にお申込の場合

両日参加：会員(協賛学協会会員・事業維持会員を含む) 20,000円，学生5,000円，非会員25,000円

一日参加：会員(協賛学協会会員・事業維持会員を含む) 14,000円，学生3,500円，非会員17,500円

・10月5日以降にお申込の場合

両日参加：会員(協賛学協会会員・事業維持会員を含む) 22,000円，学生6,000円，非会員30,000円

一日参加：会員(協賛学協会会員・事業維持会員を含む) 15,500円，学生4,000円，非会員21,000円

・資料のみ購入：会員(協賛学協会会員・事業維持会員を含む) 4,000円，非会員4,500円(会期終了後発送)

聴講料のお支払い：次のいずれかの方法で開催日までにお済ませください。なお，振替・振込の手数料はご負担をお願いいたします。

・現金書留(学会までご送付ください。)〒606-8305 京都市左京区吉田河原町14番地 近畿地方発明センタービル内

・郵便振替(口座番号：01020-0-650 加入者名：システム制御情報学会)

・銀行振込(三菱東京UFJ銀行 聖麩院支店 普通預金口座 No. 3610915 口座名義：システム制御情報学会

三井住友銀行 京都支店 普通預金口座 No. 639564

〃 〃

みずほ銀行 出町支店 普通預金口座 No.1048932

〃 〃

申込方法：セミナーのホームページ <http://www.iscie.or.jp/seminar.html> お申し込みください。

【講義概要】

第1日(10月11日(木))

10:30~11:45 「ウェブの安全性を確保するために:一般利用者と調達担当者の視点から」

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 門林 雄基 氏

今日、ウェブの用途は広がりつづけており、それに伴って技術的にも複雑さを増している。その一方で、決済や個人情報の管理といった重要情報をウェブ上で取り扱うシステムも数多く存在する。このような状況から、ウェブの安全性を確保することは重要かつ技術的にも高度なタスクとなっている。ここでは問題の困難さについて述べ、これまでの取り組みについて紹介する。つぎに、一般利用者と調達担当者の視点から、安全にウェブを使うためにやってはいけないこと、知っておくべきことを紹介する。

13:15~14:30 「インシデント分析センタnicter - インターネットを安心・安全に」

情報通信研究機構 情報通信セキュリティ研究センター 井上 大介 氏

ウェブサービスの基盤であるインターネットでは、ウェブサーバに対する妨害行為や、マルウェア(ウイルスなどの不正プログラム)による情報漏洩など、様々なインシデント(セキュリティ事故)が時々刻々と発生しています。このようなインシデントへの有効な対策を打ち出すため、情報通信研究機構ではインシデント分析センタnicter(Network Incident analysis Center for Tactical Emergency Response)の研究開発を進めています。本講演では、nicterの広域ネットワーク観測・分析技術、マルウェア解析技術、さらにインシデントとマルウェアとの結びつけを可能にする相関分析技術について、様々な実例を交えて詳説します。

14:45~16:00 「鮮度と精度を重視した全文検索エンジン Senna」

(有)未来検索ブラジル 末永 匡 氏

CGM と呼ばれるユーザ発信型のコンテンツが注目されている。それらは、頻りに更新され、文書数が多いという特徴を持つ。そのような特徴を持つ文書集合に対する全文検索について説明する。まず、全文検索について技術的な基礎を説明する。次に、(有)未来検索ブラジルによって開発されている全文検索エンジンSennaの設計・実装について紹介する。最後に、同社によって運営されている「2ちゃんねる検索」サービスでの事例を紹介する。

第2日(10月12日(金))

10:30-11:45 「Semantic Webとその応用」

関西学院大学 理工学部情報科学科 北村 泰彦 氏

HTMLに基づく人間のためのWebから、コンピュータが直接処理できる次世代のWebとして、Semantic Webが注目されている。本講演では、Semantic Webの背景としてのXMLとWebサービス、RDFやOWLなどのSemantic Web標準化、さらにWebガイドエージェントやSemantic Wikiなどへの応用について紹介し、Webの今後について議論する。

13:15~14:30 「Webテキストマイニングの研究動向」

東京工業大学 精密工学研究所 奥村 学 氏

Web上の膨大なテキストデータから有用な情報を発見する技術であるWebテキストマイニングの現状を紹介する。近年特にWebは一般の多くの人々が積極的に情報発信に関わる新たなメディアとして注目を集めており、発信されている大量の情報を有効に活用したいという要求も高まっている。そこで、一般の人々の「生の声」をうまく抽出し、社会の中の「みんなの意見」を取り出すことを目的としたテキストマイニング手法を中心に概説する。また、そのようなマイニングシステムの1つの事例として、我々が現在開発中のシステムについても紹介する。

14:45~16:00 「Webにおける認証方式のいろは」

サイボウズ(株) 山本 泰宇 氏

昨今Web2.0として、さまざまなWebサービスを連携させ、システムとしてより活用させる試みが数多くなされています。その際に当然必要となるのが、Webサービス間の認証連携です。本講演では、Basic認証、SAML、OpenID、WSSE等のプロトコルやサイボウズ製品の事例を通じて、認証にまつわるさまざまな技術と課題を紹介いたします。